

第三章
アブノーマルセックス編

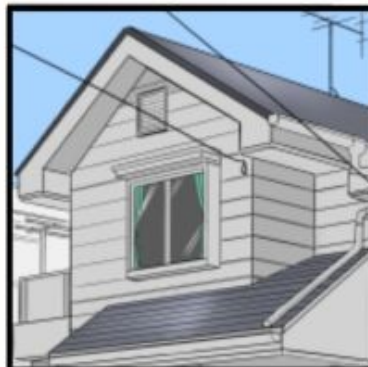
未亡人、再燃する雌の欲望
亡き息子の友人と…



初体験、
アナル・セックス



ある秋の日



もう大丈夫よ、
準備できたわ…

本当？

はっ

はあ、



じゃ、そろそろ
いくよ？



ええ、きて…
ゆつくりね？



はじめてだから
ローション多めに
塗っておいたから





この日、私たちは
初めて
俗に言う
アナルセックスと
いう方法で繋がった。

ああ…とうとう
挿入しちゃった。

なぜ私たち
こんな普通
じゃない破
行為をす
る事にな
ったか
と
言
え
ば
…

数週間前

え？
お尻でしたいって
…

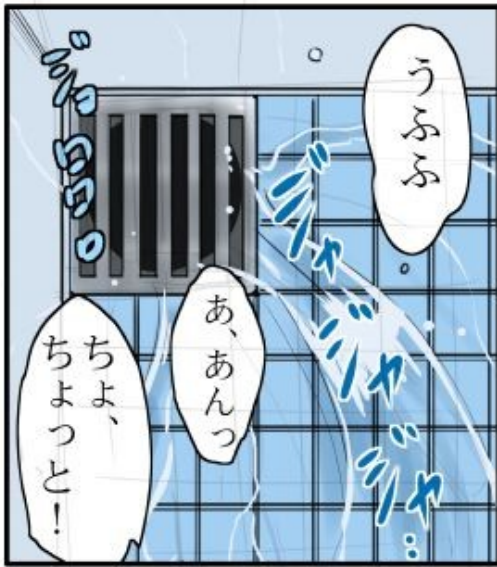
そう、
お尻！

そ、それって
あの…

うん、アナルって
やつだね

この話はもう
これで終わっ
たと思っ
ていた。

だ、だめよっ
そんなこと！



またある日

やん、

ちよつと
はずかしいわ

はあ
はあ、

が
ばっ

は、

あ、

あん、

もうっ
焦らさないで……はやく

ん……

くちゅ

くちゅ

ぬちゅ

あは、

あふ、

け

ちゅ

とん



きやつ!
ま、まって
そこは……

突然、それをすべ
らせて下の穴に
あてがって来た



膣口をペニスで
擦りながら

ゲッ
ギョ

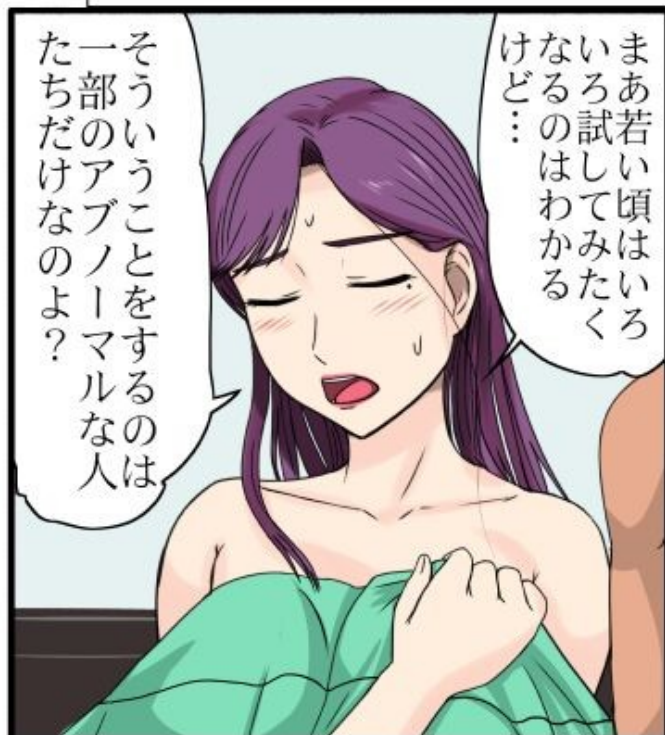
彼が事あるの
お尻の穴にの
触れて反たの
は私のためだ
伺うしたいの
たらしめ

そ、
そこはちがう
わよ



まあ若い頃はいろ
なるの試してみたく
けど……

そういうことをするの
は一部のアブノーマルな
人だけなのよ?



ああ言ったものの、
一応ネットでやり方を
調べてみたりして……



浣腸……

……そして

ねえ
この間言ってた
アレ、してみる？

ほら、お尻で……
アナルセックスよ

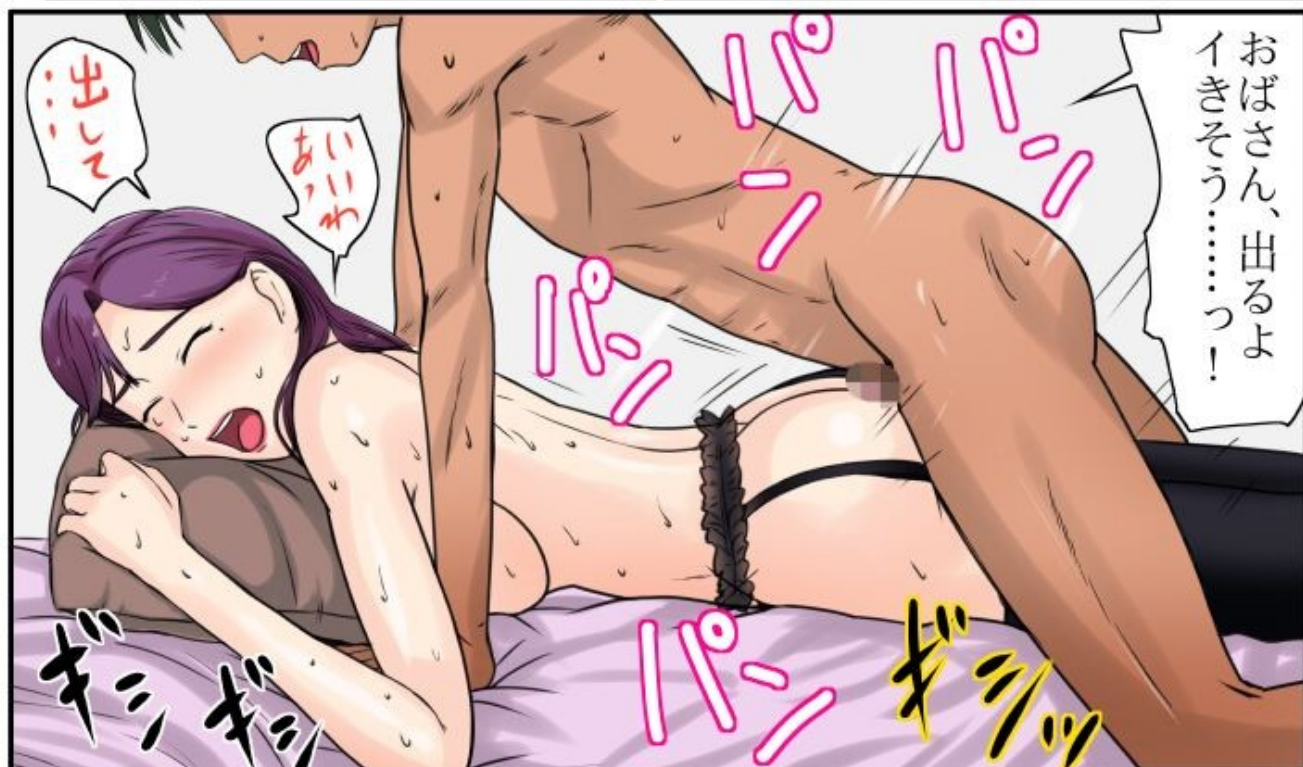
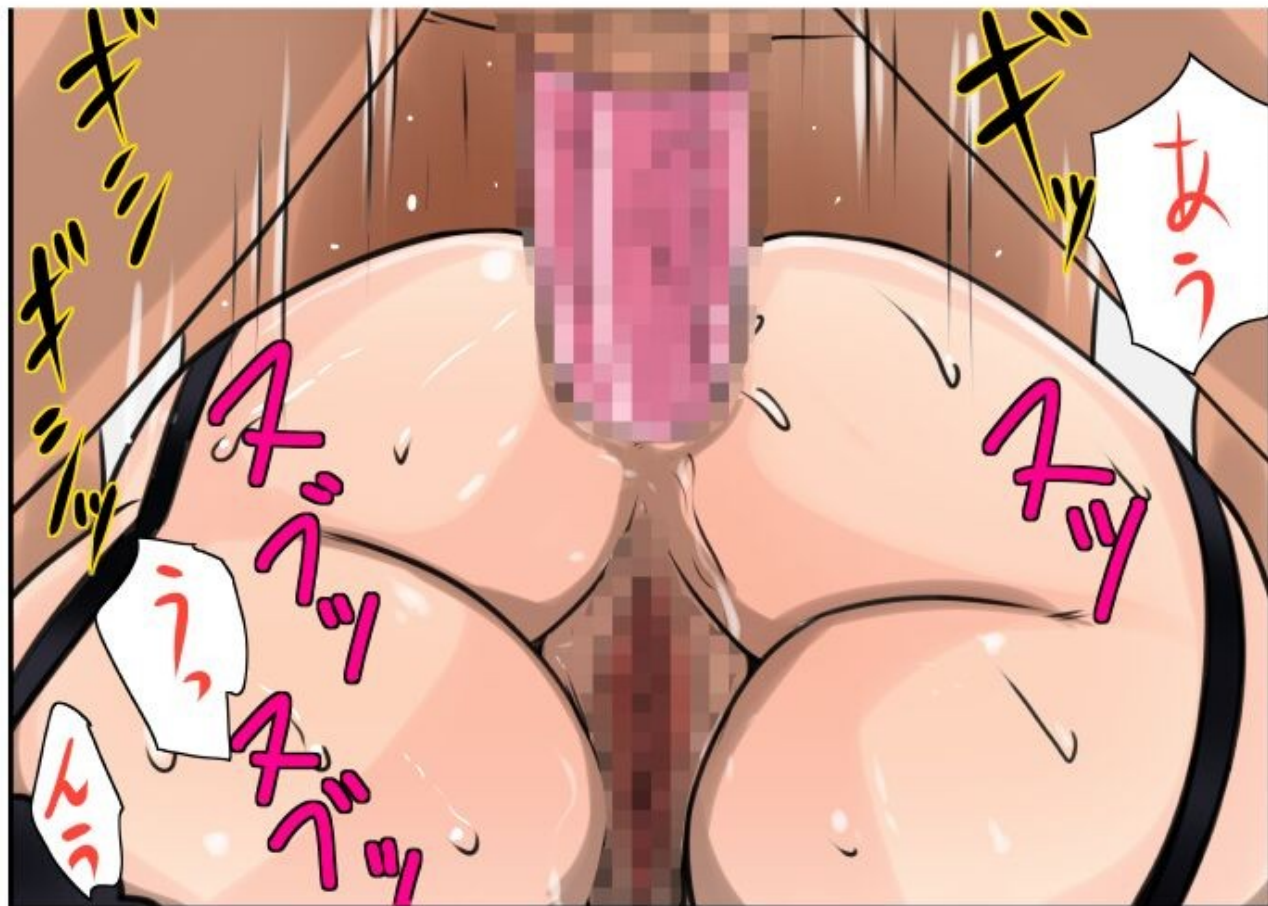
え？う、
うん！

私の方からさそって
しまったのだった。







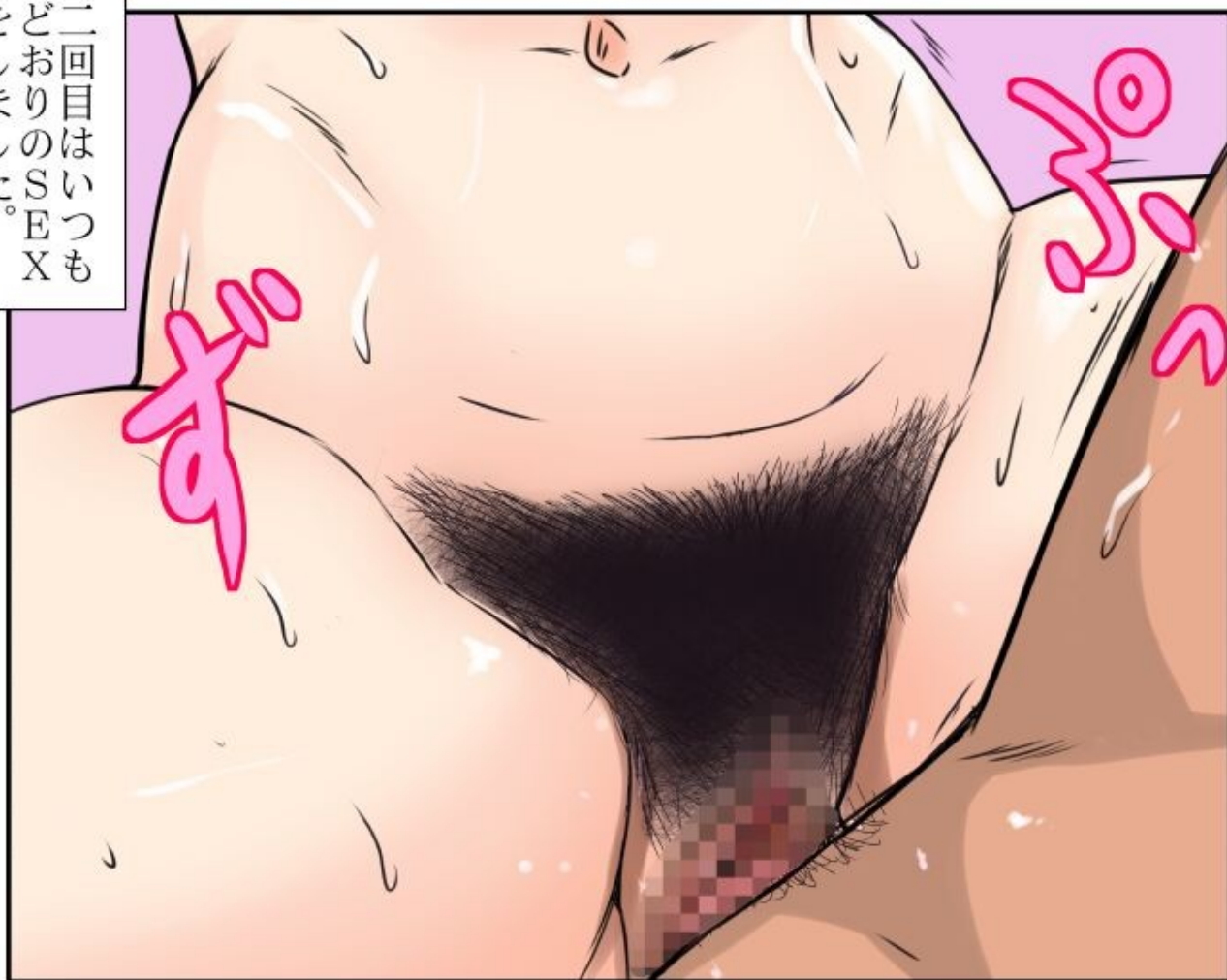








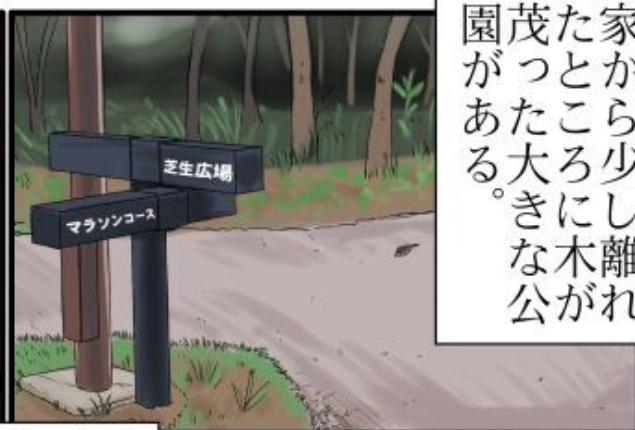
二回目はいつも
どおりのSEX
をしました。



夕暮れの公園で
野外性交体験



家から少し離れたところに大きな公園がある。



今日はそこに二人で走りに来ていた。



風が気持ちいいわね















次第に恥ずかし
さよりもこんな
状況での性行為
への好奇心が勝
つて大胆になっ
てしまおう……

ここまで来ると
もうフェラだけ
は終わらないの
は分かっていた

そのまま
お尻
突き出して

これ
いい？

うん、あ、
もうゴムつけた
から

イデ

え？
ゴムって

こんなことも
あるかと思っ
てさ、持っ
てたんだ。

ひっ
ちっ

もしかして
はじめからその
つもりだったんじ
ゃない？

いや、まさか本当に
できるとは思わなかつた
よ……おばさんが本気で
嫌がったらしないつもり
だったし

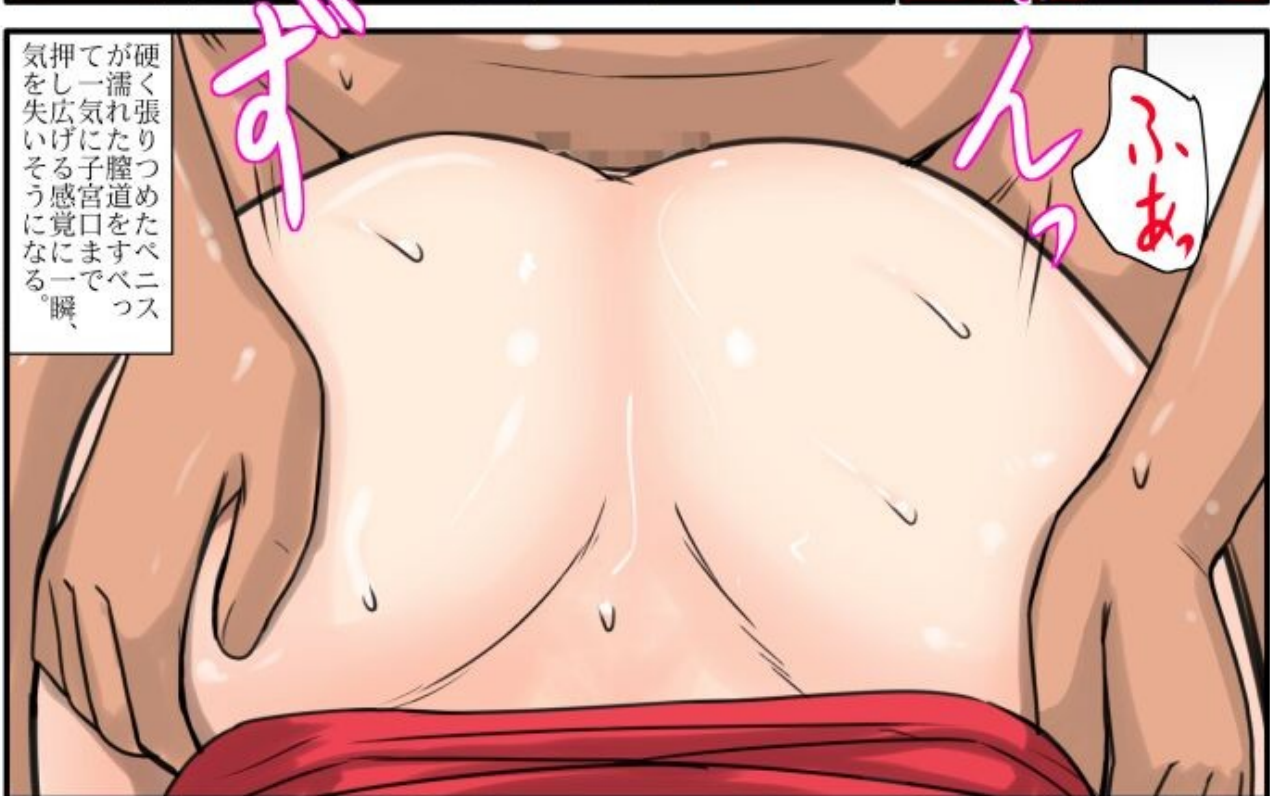
スッ

スッ





膣口にペニスをあてが
震わただけで太ももが
やっとなだっていた。



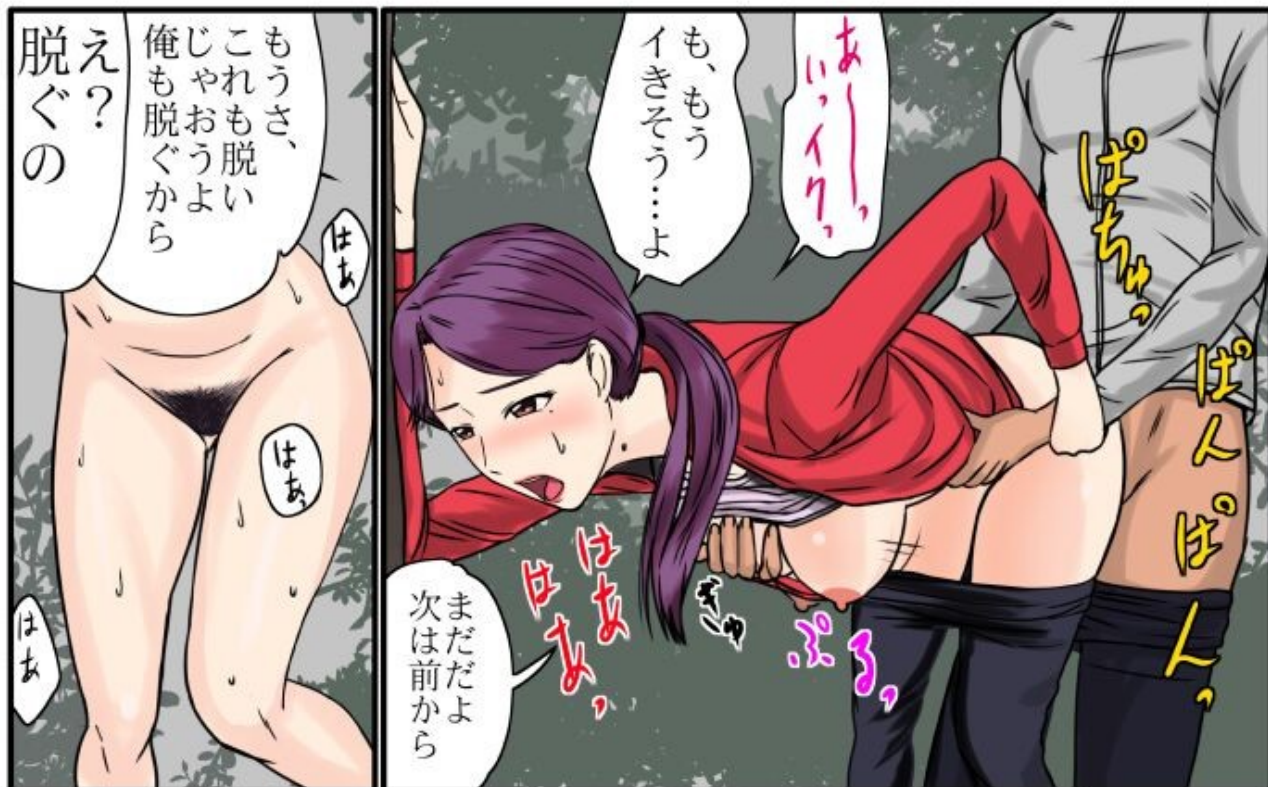
硬く張りつめたペニス
が濡れた膣道をすべつ
て一気に子宮口まで
押し広げる感覚に一瞬、
気を失いそうになる。

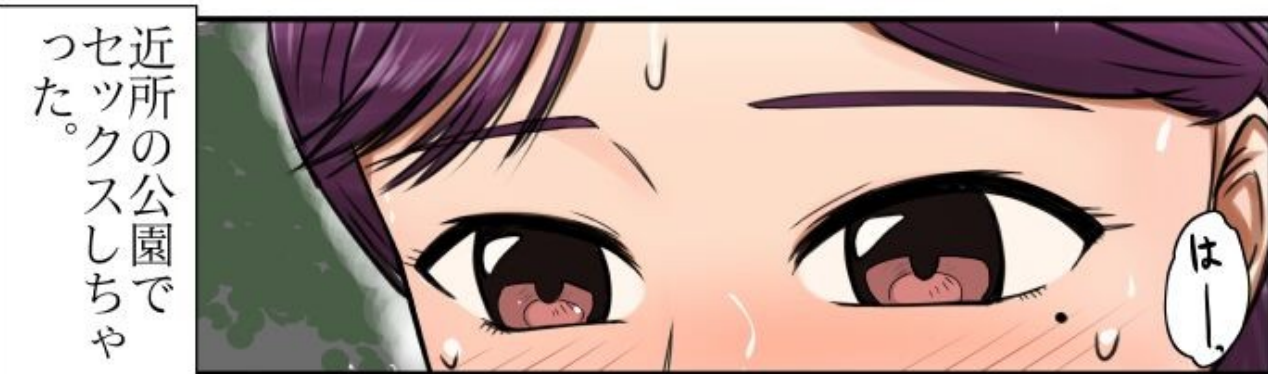


声が抑えられない……



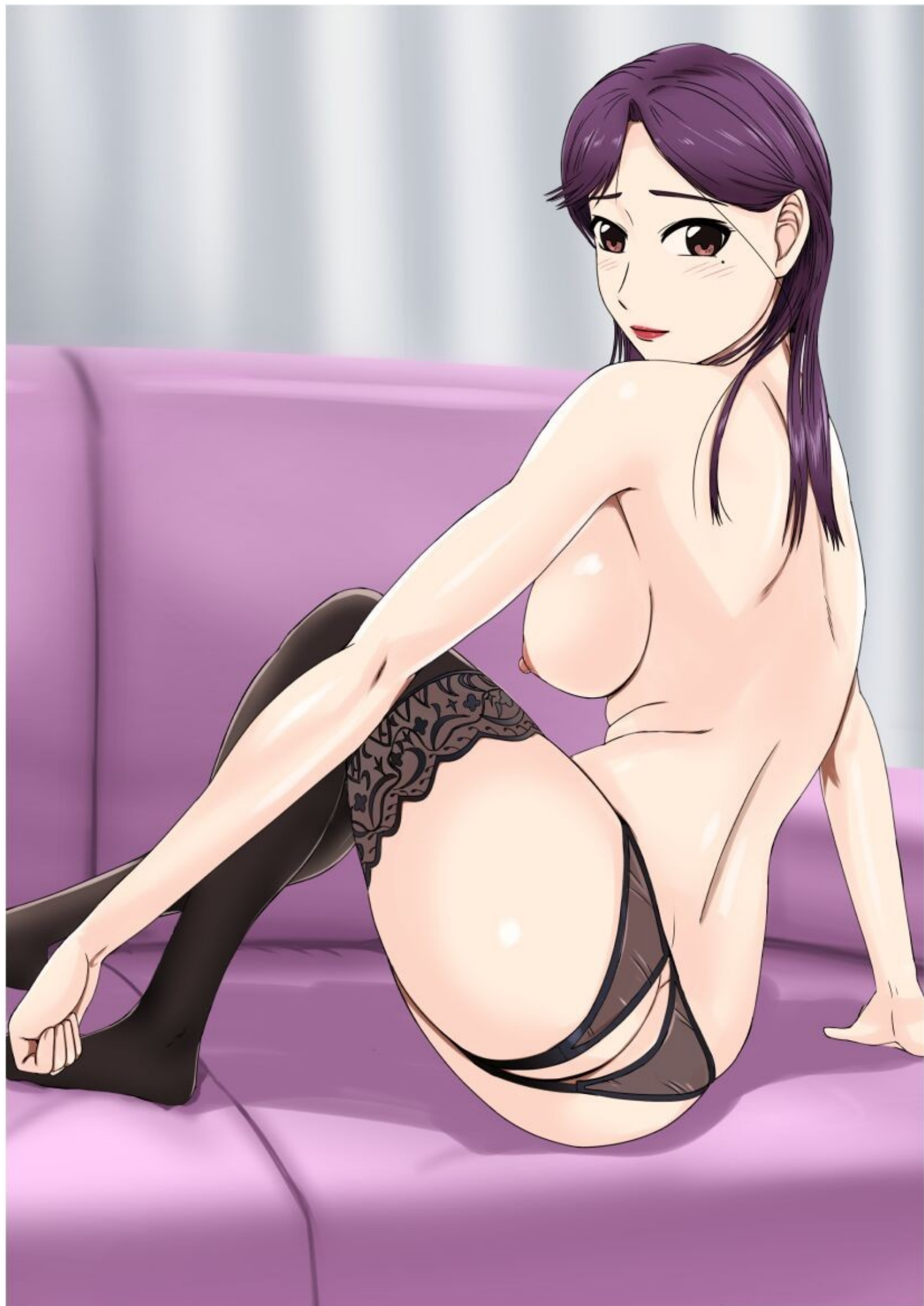
夕暮れの公園で年下の男の子とセックスして人目も憚らず声をあげている自分が信じられない















お買い上げありがとうございます。

**当サークルではこの作品に対するユーザーの皆様のご感想
ご意見をお待ちしています。どんなジャンルでどのような
作品が読みたいかなどありましたら下記のアドレスあてに
お知らせ下さい。**

**※当サークル作品のインターネット上での無断配信
他言語への翻訳等の行為は著作権を侵害する意図に
関係なく違法です。**

utagawayosiero@hotmail.co.jp